

2 地域特産品「梅」の生産拡大を目指す

- 県内特産のひとつである梅は、近年、生産量が減少しているため、生産現場における課題、関係機関の取り組み等を共有し、梅の生産拡大をめざす。

○ きっかけ

県内嶺南地区の特産である梅は、福井梅として需要があり、市場では高い評価を得ており、価格も比較的高値で推移している。

一方、生産現場では、高齢化による離農、老木化、鳥獣被害などから生産量が減少している。

各関係機関の梅の生産拡大にむけた取り組みの周知と梅の生産から出荷、加工までの情報を共有することにより生産の拡大を目指す。

○ 取組の概要

若狭町内において、農業者、国、県、町及び農業団体が一堂に会した懇談会を開催し、梅産地としての地域の農業者が直面している課題と、関係機関の取り組みを情報共有し、関係者が生産拡大に向けた取り組みを行った。



令和元年8月8日 若狭町での意見交換の様子

○ 懇談会での意見・要望など

- ・参加者間により課題や情報を共有し、産地として出荷量の安定と確保、さらに生産拡大への雰囲気を感じた。
- ・各々の機関における担い手育成、生産拡大、園地整備、販売促進に向けた各種取り組みの継続が必要。
- ・地域における梅生産者間の情報を共有することで廃園の発生を防止する。
- ・作業の機械化や老木化への対応などへの支援を要望。